

KAKEHASHI TIMES

No.001
2018.11

Building Bridge between High School Students in Japan and Asia.



架け橋 1 期生が来日 —全国各地域での生活がスタート！

「アジア高校生架け橋プロジェクト」第 1 期生 100 名が、8 月 22 日(水)に来日しました。出身国は中国、韓国、モンゴル、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、マレーシア、フィリピン、インドネシア、スリランカ、インド、ネパール、パキスタン、ブータン、

バングラデシュの 17 か国。来日直後に全員で首相官邸を訪れ、西村康稔内閣官房副長官を表敬した後、週末にはそれぞれの配属地域へ散らばり、各地で新しい生活をスタートさせました。(広報担当 藤澤紀子)



アジア高校生 架け橋プロジェクト とは？

日本に関心を持ち、日本語を学ぶ意欲のあるアジアの高校生たちを日本に招へいする政府事業。留学生は半年～10 か月間、全国各地の寮やホストファミリーのもとで生活しながら地域の高校に通います。2018 年から 2022 年までの 5 年間に、20 か国から累計 1000 人が来日予定。AFS 日本協会は文部科学省による公募で実施団体に決定しました。



留学生からの

寄稿

Student's Voice



寄稿者：レット, パンニャワン



Reth, Panhavoan

カンボジア

ホストスクール：奈良県立高取国際高等学校
(奈良県高市郡高取町)



近くの公園。穏やかな雨が降り、映画「言の葉の庭」のようでした



文化祭でダンスを楽しんだ後、男子みんなで「いいね！」

ずっと夢に抱いた日本の高校生活

奈良県はとても美しいところです。日本の最初の都だったので、さまざまな古いところがあります。今まで僕は、ホストファミリーといろんな美しいところに行きました。その一つはライトアップというイベントです。夜の闇に、神社や町が照らされとても美しい景色でした。ある日、一人で傘を持って散歩をしに行きました。もちろん、帰り道は迷ったけど、森のような公園がたくさんあって、穏やかな雨の中、心が落ち着きま

した。それは最高だと思いました。

毎日、色々なことを経験しています。これは、僕がずっと夢に抱いた日本での高校生活です。今も、それは夢のようです。一年前の僕に「あなたは一年後留学生として日本に行くよ」と言ったら、僕はきっと信じられないと言うだろう。でも、その夢は現実になりました。これから進む道、たくさんの経験を楽しんで、全力を尽くします。



わが町の、架け橋生

留学生—ホストファミリー／寮—ホストスクールをつなぐ「LP(リエゾン・パーソン)」の目線に立って、架け橋生を多面的に紹介します。



第1回

AFS宮崎南支部

世界中からやってくる留学生や、宮崎南部から世界に羽ばたく派遣生の成長を楽しみに、日々活動しています。(支部長：小玉順子)



イ・チェユン
Lee Chae-Yoon
韓国



韓国と日本は似ていると思っていましたが、いろんな違いがあります。たとえば、日本は共学の学校が多く、授業の前後に立って礼をします。韓国の学校では、昼と夜に給食がありました。日本のお母さんのお弁当は、いつもとてもおいしいです。

ホストスクール：西谷恵美先生

友達と一緒に、進んで勉強しています。先生への態度がとてもよく、コミュニケーション能力が高い生徒です。



ホストマザー：長谷部三千代さん

日本語がとても上手で、わからない言葉があると「ちょっと待ってください」と必ず調べています。ユンちゃんは、留学生というより家族の一員です。



LP：萩原千代 空港で出迎えたとき、「LPさんは来ていますか」と日本語で質問してきたユンちゃん。AFSのサポートをすでに把握しており、驚きました。

ホストスクール 日南学園高等学校(日南市)

ホストファミリー 長谷部さんご家族(串間市)



デヒワラ・リヤナゲー, ギーシャーニ
Deviware Liyanage, Geeshani
スリランカ



日本はとてもきれいな国で、日本人はとてもやさしいです。家族も仲良く、1歳半の甥・はると君とよく遊びます。学校では、いろんな先生や友達がわからないことを教えてくれるので、何でも質問できます。部活のバスケットも、楽しいです。

ホストスクール：松田香織先生

ギーシャの理解度に合わせて、各教科の教員が工夫して教材を作っています。1日1ページの私の交換日記が、もう2冊目になりました。

ホストファーザー：西岡宏能さん

まれに見るやさしい子、頑張り屋です。ギーシャが我が家に来てから、家族みんながいろんなことに取り組むようになり、やさしくなりました。いい刺激になっています。



LP：井上昭子 明るくて、いつもニコニコしています。台風が来たときに様子をたずねたら、「井上さんは大丈夫ですか?」と逆に気遣ってくれました。

ホストスクール 宮崎県立日南振徳高等学校(日南市)

ホストファミリー 西岡さんご家族(日南市)

(構成：架け橋プロジェクトチーム 若生 麻衣)

Who's your buddy?

ホスト訪問!

本校は、双葉郡の方々の「双葉の教育の灯を絶やすことなく灯し続けたい」という強い願いと、震災後、こどもたちの中に芽生えた、復興をなしとげようとする強固な意志、夢を実現しようとする意欲、新しい価値観、創造性、高い志を礎として、誕生した。県内で唯一、文部科学省からスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組

んでいる。留学生の受入は初めてではあるが、留学生を受け入れることによって、留学生と本校生の間で交流が生まれ、コミュニケーション能力の向上や異文化理解の深化が期待できる。毎日の学校生活では、生徒たちは、英語や日本語を駆使して、お互いに意思疎通を図り、留学生の受入を楽しんでいる。

〈教頭：山本健弘先生〉

(構成：架け橋プロジェクトチーム 板東美穂)

デラガナダン、インドラ
Thelaganathan, Indrah
マレーシア



Host school



福島県立ふたば未来学園高等学校
(福島県双葉郡広野町)

「アカデミック」系列、「トップアスリート」系列、「スペシャリスト」系列を設け、幅広い学びを可能とした総合学科高校。



(上) インドラが来たことで演劇部が成長していく話(ノンフィクション)を描いています
(下) 演劇部、地区コンクールのリハーサル風景。インドラが演劇部に入部するシーンです



あっという間に
友だちがたくさん
できたね!

皆さんの
手助けもあり、
学校生活は
楽しいです!



わたしの NIPPON!

ユニークな日本語学習の方法
Her unique way to learn Japanese.



I am really passionate about learning Japanese culture. So for that I have to master the language. I am finding new and fun ways to learn all the Katakana and Kanji.



It's really helpful since every morning I stare it in order to remember it.



クラム, ライバ
Khuram, Laiba

(配属: AFS 岡山支部)

パキスタン・ファイサラバード市出身。ホスト学校は、清心女子高等学校(岡山県倉敷市)



となりの KAKEHASHIさん #1

生徒
インタビュー

架け橋生の身近な人たちに、突撃インタビューしました!

架け橋さん: 陳建全 (Chin, Jianquan)

あだ名 チン君
出身地 中国 広東省 ゾンシャン
配属校 公文国際学園高等部(横浜市)
住居 同校男子寮
趣味 ギター弾き語り、日本のアニメ
夢 高校を卒業したらもっと日本語を勉強して東大に入りたい
長所 何事にも積極的に向き合う
短所 早とちり



(写真右から)

寮仲間: 上島君、石堂君、伊藤君、鈴木君、杉村君

寮に来てから1か月でよくここまで馴染んだものだ、みんな驚いています。実は入寮直後にチン君のお世話係を決めたけれど、彼は日本語を少しは話すし、コミュニケーション力もあったので、**超越し苦勞**でした。「留学生」というと、英語を話すグループと



一緒にいる特別な存在と感じるけれど、彼は寮生としての**シンパシー(共感)**を感じ合える仲間です。彼を一言で表すならば、「彼こそが**留学生の模範だ!**」ということに尽きますね。

(構成: 架け橋プロジェクトチーム 木下行雄)

サポートの 現場から ①

到着直後オリエンテーション

AFSでは、留学生の受入れにあたり、留学生やホストファミリーを対象にさまざまなオリエンテーションや行事を開催し、異文化体験を促進するサポートを行っています。

2018年8月22日～25日、東京都内で「到着直後オリエンテーション」を開催しました。AFSオリエンテーションガイドラインに基づき、①架け橋プロジェクトの理解 ②『Welcome to Japan』の重点項目の伝達 ③留学の目標設定 を目的に行いました。

2018 8/22 1日目は、各国から留学生が来日。2日目午前、職員がAFSのサポート体制や日本での滞在ルールについて、レクチャーを行いました。次に、寮生とホームステイ生に分かれ、それぞれの生活で気をつけるべき点を説明。どの留学生も、真剣なまなざしでレクチャーを聞きました。

2日目午後以降、留学生は10名1班のグループに編成。大学生ボランティア2名が各班のリーダーとなり、『Welcome to Japan』の重点項目を主に確認しました。留学生が主体的に参加できるよう、ディスカッション形式、ゲーム形式など各班が工夫を凝らしていました。

2018 8/24 3日目の閉会式では、AFS日本協会・加藤暁子理事長がスピーチ。自身の留学経験やアジアとの縁について話し、「アジア代表という意識をもち、充実した日本生活を送って下さい」と、留学生を励ました。会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

2018 8/25 到着直後は不安な表情を浮かべていた留学生。3泊4日一緒に過ごした大学生ボランティアや、他国から来た同期との絆も深まりました。日本の習慣、寮や家庭、学校について事前学習を経た最終日は、どの留学生も笑顔で各地域へと旅立ちました。

(構成：地域本部 五嶋春奈/プログラム本部 高橋裕之)



『Welcome to Japan』とは？

来日するAFS生全員に配布する冊子で、日本で生活する上で大切な情報(習慣・文化・家族・学校や社会制度など)を網羅しています。AFS生と保護者は、この冊子を読んで、来日準備をします。

recipe
1

留学生よろこびメシ

材料 所要時間
4人分 20分

ベジタリアン
VEGGI

イスラム教
ヒンズー教
対応



生揚げとしいたけの煮物

「切って煮るだけ」レシピです。生揚げはボリュームもあり、植物性たんぱく質をとることができます。生揚げの袋についていた調理例を参考にしました。(作った人：架け橋プロジェクトチーム 上飯坂朗子)

〈材料〉

生揚げ(厚揚げ)		1枚
生しいたけ		4枚
梅干し(甘塩)		小6個
だし汁(昆布やしいたけなど植物性のもの)		160ml
砂糖		大さじ1
しょうゆ(アルコールが入っていないもの)		大さじ2



- ① 生揚げを熱湯で1分ほどゆでて取り出す。横半分・縦4つの8等分に切る。
- ② 鍋にだし汁、しょうゆ、砂糖を煮立てる。
- ③ 生揚げ、しいたけ、梅干しを入れて落とし蓋をし、10分ほど煮る。

レシピ募集! 架け橋生のなかには、宗教的な理由で豚肉・牛肉やアルコール入りの食材をとらない生徒がいます。食事制限がある留学生でも食べられるメニューの投稿をお待ちしています。✉ kakehashi-support@afs.or.jp

【編集後記】失敗談です。留学生が炭酸飲料水を指して「Sake?」と質問。「Cider」と答えると「サイダー? 酒?」と再び尋ねるので、発音が悪くサイダーが酒に聞こえたのかなと思いつつ、ゆっくり言い直す。けれど通じない。必死に身振り手振りで伝えるけれど周囲から見たら私はほとんど怪しい人。今ならダジャレも教えられたのに。そうだ、sodaと。(架け橋プロジェクトチーム 板東美穂)

初のカケハシ通信を無事に発行することができました。初号は取材に編集を駆けあしで仕上げました。8月に来日した100名の架け橋生は、全国各地の寮やご家庭で日々発見の生活を送っています。このカケハシ通信は、レシピや留学生目線の写真もあり、読者の皆さんに楽しんでいただけたと思います。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。(架け橋プロジェクトチーム長 横原政徳)

発行

公益財団法人AFS日本協会 <http://www.afs.or.jp/> 〒105-0004 東京都港区新橋5-22-10 松岡田村町ビル7F TEL: 03-6206-1911・FAX: 03-3507-4300
大阪オフィス 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-7-11 第8新大阪ビル402号 TEL: 06-6309-5151・FAX: 06-6309-5191 架け橋プロジェクトへの問合せ kakehashi-support@afs.or.jp